



令和2年12月15日
第65号
 発行
 祇園学区
 社会福祉協議会
 編集・広報部

新型コロナウイルス感染症について
 社会福祉協議会会長 内科医 堀江正憲



人に感染する四種類のコロナウイルスは、風邪の10〜15%を占める原因として知られていました。令和元年12月末、中国の武漢市で発生した原因不明の肺炎が、新型コロナウイルスであることが判明しました。

日本では、令和2年1月15日、中国からの帰国者が新型コロナウイルスと診断されました。2月3日、横浜港に入港した豪華客船の船内感染が判明しました。3月11日、WHOのパンデミック宣言、4月16日、日本全国に非常事態宣言が発令され、5月25日に解除されました。

新型コロナウイルスの特徴
 ほとんどが無症状ないし軽症

であり、発熱や倦怠感、咳が長引くなどの症状が風邪と似ています。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されています。特に高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすいです。感染から発症までの潜伏期間は1日から2週間前後ですが多くは5日から6日です。

感染

- 感染には飛沫感染と接触感染があります。
- 飛沫感染
感染者の飛沫（くしゃみ・咳・つば）と一緒にウイルスが放出され口や鼻から吸い込んで感染します。
- 接触感染
ウイルスがついた所を触り、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

日常生活で気をつけること

- 帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに30秒以上流水で手を洗いましょう。
- 咳の飛沫は2メートル先まで飛ぶと言われています。ハンカチやマスクで口や鼻を覆いましょう。
- 人ごみを避けましょう。
- 窓を開け換気しましょう。
- バランスのとれた食事や規則正しい睡眠などで体力を落とさないようにしましょう。

濃厚接触者の定義

- 感染者と発症2日前から接触した人のうち次にあてはまる人
- 感染者と同居あるいは長時間の接触（車内・航空機内等を含む）があった人。
- 適切な感染予防策なしに感染者を介護していた人。
- 感染者の体液等（汚染したもの）に直接接触した可能性が高い人。
- 手の触れることのできる距離（目安として1m）で、必要な感染予防策なしで、感染者と15分以上の接触があった人。

新しい生活様式

- 日常生活の各場面別の生活様式
- 買い物
1人または少人数ですいた時間に行きましょう。
- レジに並ぶときは前後にスペースをとりましょう。
- 娯楽・スポーツ等
公園はすいた時間、場所を選びましょう。
- 予約制を利用し、狭い部屋での長居は避けましょう。
- 公共交通機関の利用
混んでいる時間帯は避けましょう。徒歩や自転車利用も併用しましょう。
- 食事や会食
持ち帰りや出前、デリバリーも利用しましょう。
発熱や風邪の症状がある場合は参加しないようにしましょう。

7月頃より第二波、更に第三波の兆しがあり、今後も厚生労働省が出す新型コロナウイルスの情報に注目して下さい。



コロナ禍で、敬老会が中止となりましたが、敬老の気持ちを中学生に作文してもらいました。

祇園中学校二年

永原 大輔

会話の大切さ



僕は祇園小学校卒業生です。僕はこの学校でたくさんのお年寄りの方がいます。僕はその中で一人とても印象に残っているお年寄りの方がいます。その方は毎日登校中の小学生に優しい声をかけてくれます。その方は一人一人声のかけ方を変えていました。僕はよく時間を教えてもらいました。僕の顔を見るといつも「おはよう。今は五十分。ピツタリだよ。」や「おはよう。今は八時。ちょっと急いだ方がいいかも。」など温かい声をかけてくれます。そのような言葉を聞くと僕も「おはようございます。いつもありがとうございます。」と自然に一言返したい気分になります。

この会話でもとても気持ちよくなります。

ります。このような方々が祇園地区にはたくさんいらっしゃいます。これからもお体に気をつけて地域の見守りをよろしく願います。

祇園中学校二年

古田 真緒

笑顔あふれる町



一日の寒暖差が大きくなっていますが、体調に変わりはないですか。いつも私達を見守ってくださる地域の皆さんが元気に過ごされていることとても嬉しく思います。

この祇園の地域は、優しさ笑顔のあふれる地域だと私は思います。登下校中に笑顔で「おはよう。いつてらっしゃい。」や「おつかれ。おつかれ。」など温かい声をかけてくださる方がたくさんいます。そして、部活で外周をしていると「頑張ってる」と声をかけてくださる方もいます。その言葉に聞かされたときにも嬉しい気持ちになります。私にとってこの祇園の地域の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは皆様の明るい笑顔と挨拶で私達の見守りをお願いいたします。また、お体にはお気をつけてお過ごしください。

祇園中学校校長

金村 成義

いのちのバトン



この四月に、赴任して参りました校長の金村成義と申します。どうぞよろしくお願いたします。十数年前に何度かこの祇園地区を通ることがあったのですが、当時とは町の様相も大きく様変わりしたことに驚かされています。

さて、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、どの地域も様々な行事が中止となる中「祇園学区社会福祉協議会」におかれまして、この度の「敬老会」が中止となり、非常に残念に思いますが、高齢者の皆様がお元気に敬老の日を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。いつも「敬老の日」と聞くと、詩人であり書家でもあります相田みつをさんの「自分の番 いのちのバトン」と

いう詩を思い出します。私たちがこの世に生を受けて、豊かに、そして平和な日常生活を送ることができるよう、ひとえに皆様方の並々ならぬご努力の賜物であると、これまで命のバトンをつないでこられた高齢者の皆様のおかげと感謝を申し上げます。

今後とも、これまで培ってこられた豊富な経験と深い知恵のもと、祇園地区の子どもたちや後進の若者たちに温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そして、いつまでもお元気で長寿を重ねられますことを心からお祈りすると共に、来年こそは皆様にお会いできますことを楽しみにしています。結びに長寿をめたく迎えられる皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。



祇園小学校教頭

元田 学

着任のご挨拶

【自己紹介】

今年度より、歴史ある祇園小学校の教頭を拝命し、身の引き締まる思いとともに、大きなやりがいを感じています。昨年度までの三年間は広島市教育委員会に勤務しておりましたが、現場を離れ学校勤務とは違う視点で教育行政に携わることができた経験は、教員としての視野を広げることにつながったと感じています。また、三年間のプランクを経て学校現場で子ども達と関わることに大きな喜びを感じています。新米教頭で至らないことが多々あると思いますが、自分に与えられた役割をしっかりと果たせるよう努力してまいりますので、皆様よろしくお願いたします。



【新任教頭から見た祇園小学校】
コロナ禍の現在、本校においても「新しい生活様式」を取り入れ、学校に集まる皆で感染拡大防止に気を付けながら毎日を過ごしてい

ます。着任して半年、落ち着いた児童と、それを支える教職員の組織力の高さ、地域・保護者の皆様は、学校・家庭・地域のつながりを大切にしながら教育活動を行っており、地域の皆様のご協力の陰で充実した教育活動を行うことができています。

【課題を乗り越えるために】

百四十年以上の歴史を有する本校は、令和二年十月現在、三六学級千十五名の児童が在籍しています。学習指導面や生徒指導面において、解決しなければならぬ課題はいくつもありますが、子ども達も教職員もその課題の一つ一つを解決し、乗り越えることを通して成長していくものです。教頭にできることとして、課題解決の支援策と一緒に考えたり、保護者・地域の皆様にご支援をいただくために、学校の取り組みや考え方をわかりやすくお知らせしたりすることが必要だと考えています。現在、地域の皆様に学校においていただくことは難しい状況が続いていますが、学校の取り組みはホームページや学校だよりなどで発信してまいります。また、皆様に信頼

していただけるよう、子ども達一人一人に確かな力を育む取り組みをチーム祇園小として実践してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

最近の取り組み



祇園中学校

地域の皆様には、日頃から祇園中学校の教育活動にご理解・ご協力ありがとうございます。昨年末から新型コロナウイルス感染症対策のため、学校行事を縮小し、地域の皆様のご来校をご遠慮いただき、学校の様子を直接お伝えする機会がなく大変申し訳なく思っています。この紙面をお借りして最近の学校の様子を少しお伝えさせていただきます。

今年の体育祭は、学年ごとの「クラスマッチ」に変更し、「ラジオ体操第二」でスタートしました。日頃体育の合同授業で、一年生も二・三年生の機敏な動きのラジオ体操を学んでいます。その成果が表れた演技となりました。各クラスは限られた時間の中で練習をし、準備や当日の進行は各学年の体育委員と文化委員が中心と

なっており、三年生がリーダー学年として直接一・二年生をリードしていくことはできませんでしたが、三年生の熱い思いの練習や行動は一・二年生にも伝わってどの学年も白熱した「クラスマッチ」になりました。

全校生徒が集うことが難しい今、日常の活動の大切さを痛感する日々です。行事の形は変わっても、先輩から後輩へと受け継ぐ「祇園中の心」を育てていく取り組みをこれからも続けていきたいと思えます。地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



元気ハツラツ「ラジオ体操第二」

できることを工夫して

祇園小学校

今年度はコロナ禍のため、変更・中止する行事等が多くなっていますが、本校では、参観日・PTA総会・音楽発表会など大勢の方が集まる行事を中止し、野外活動・運動発表会は例年とは内容を変更して実施しました。

一方で今年度新たに取り組んだものもあります。担任と保護者の連携の機会として、八月上旬に全児童を対象とした個人懇談を実施しました。また、参観日の代わりに「学校へ行こう週間」を十月下旬に設定し、出席番号で割り振った時間に参観していただく分散型授業参観を実施しました。

コロナ禍で見直しを迫られたのは、行事だけではありません。日々の授業も例年とは実施方法を大きく変更せざるを得ない状況です。本校では、地域・家庭とつながる教育活動を実践しています。ICTを活用したりリモート見学を行ったり、地域やお店の方のお話しをビデオに撮影して授業に活用したりしています。

今後も「できないこと」ばかりに目を向けるのではなく、「でき

ること」を工夫して行う柔軟な姿勢で教育課程の見直しを行っていきたく思っています。



ICTを活用した授業風景



運動発表会の様子

後期高齢者の仲間入りをして

北下地区

衛藤 安正さん

この春、後期高齢者の仲間入りをして、改めて年月の経つ早さを感じています。広島に福岡から転勤して三十五年余り、定年退職後も十五年間、別会社で働き、仕事一筋に頑張ってきました。同世代の方は皆同じかもしれませんが、育児、家事は殆ど妻任せでした。言葉ではなかなか言えませんが、感謝しかありません。

仕事を離れて高齢者でもできることは無いかと考えていましたが、新

型コロナの影響で老人は特に動きにくくなりました。現在は、密を避けて趣味の鮎釣りを楽しんでいます。澄んだ空気の中で、釣り糸を投げている時間は、最高です。

新型コロナの感染が早く終息して、遠くの孫や親戚に会いたいものです。人生百年時代と言われている今、健康寿命を少しでも延ばせるよう、自分にできることから始めるつもりです。限られた人生、これからも、親切なご近所の皆さんと仲良くして、平穏無事な生活がいつまでも続くように願っています。



年輪ばんざい!!

【長寿者インタビュー】
前 多喜夫さん
祇園五丁目 (九十歳)

健康への心掛けは
毎朝、新聞を取りに出たついでに軽くストレッチをしています。食事は、みそ汁やちりめん・らっきょうを欠かさず食べています。

これまでで一番の思い出は
可愛い孫が生まれたことです。

趣味は何ですか
退職してからボケ防止に囲碁を始めました。仲間たちと週2、3回会って楽しんでいます。

人生の先輩として 次の世代に伝えたいことは
「実るほど頭を垂れる稲穂かな」基本は曲げず、先輩の仕事をもそのままするのはなく、相手の身になり自分の考えを入れた仕事をして欲しいです。



安佐南 さわやかあいさつ運動

令和二年九月二十四日(木)
午前七時四十分〜八時十五分の間、区役所をはじめ祇園地区の各種団体の参加で、祇園小学校正門・東門・JR下祇園駅の三か所において「安佐南さわやかあいさつ運動」が行われました。

赤い羽根共同募金
10月1日~12月31日
今年もよろしくお願ひします

平成31年度実績	令和2年度目標額
安佐南区分会 15,091,105円	安佐南区分会 14,852,000円
祇園分会 814,275円	祇園分会 671,000円

- 永年勤続民生委員
 吉永 菅子氏
 竹元 百合子氏
 伊藤 すま子氏

喜びの表彰

中地区民生委員
 主任児童委員
 新任 近末 雅子氏
 退任 赤井 紀江氏
 後任 赤井 紀江氏
 退任 長尾 博氏

お知らせ